

一都三県サバ漁海況検討会が「令和2年漁期サバたもすくい網漁、棒受網漁の見込み」を公表

マサバは「前年並」、ゴマサバは「前年を下回る」

当センターも参画している一都三県サバ漁海況検討会から、令和2年1月11日付けで「令和2年漁期サバたもすくい網漁、棒受網漁の見込み」が公表されました。今回は、本予報をもとに令和2年1～6月のサバたもすくい網漁の見通しについてご紹介します。

■ マサバ

(ア) 来遊量と漁獲量

3歳魚(2017年級群)は前年を下回る。4歳魚(2016年級群)は前年を上回る。5歳魚(2015年級群)は前年並。6歳(2014年級群)以上は前年を下回る。全体として漁獲量は、前年並。

(イ) 漁期・漁場(図1)

初漁は1月下旬に伊豆諸島北部海域(大室出し～利島、ひょうたん瀬)となる。その後も、漁場は北部海域となり、盛漁期には銭洲海域にも漁場が形成される。5月以降低調となり、6月には終漁する。

(ウ) 魚体

29～34cm(4歳以上)主体に漁獲される。

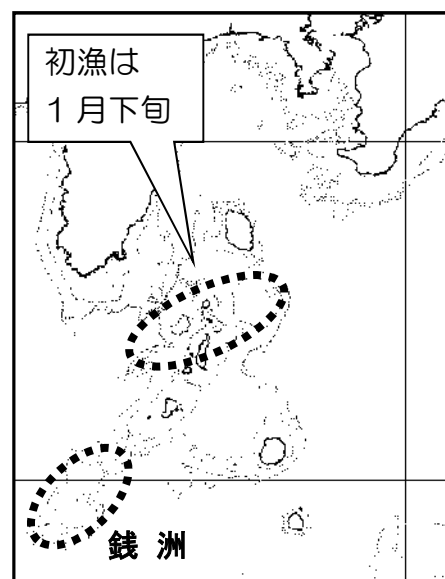


図1 予測されるマサバ主漁場

※ 年齢は年初に加齢し2020年時で表しています。
魚体は尾叉長で表しています。

■ ゴマサバ

(ア) 来遊量と漁獲量

前年を下回る。

(イ) 漁期・漁場

三宅島周辺海域、北部海域が主漁場となる。 マサバ主体の操業では、北部海域が主漁場となり、ゴマサバは混じる程度となる。

(ウ) 魚体

30～35cm(3,4歳魚)主体に30cm未満(2歳以下)も漁獲される。

なお、相模湾～東京湾の沿岸サバの漁況については、令和2年6月と8月に当センターのウェブサイト〈<http://www.pref.kanagawa.jp/div/1730/>〉上での公表を予定しています。